

# 城井小だより 12月

中津市立 城井小学校  
学校だより

NO.21 令和3年 12月8日

文責 徳光 秀敏

## 城井っ子集会



城井小学校が毎年この時期に行っている「城井っ子集会」を11月14日に開催しました。室内の行事ということもあり、今年も新型コロナウイルスの影響で地域の方々をお招きできませんでしたが、子どもたちは発表に向けて一生懸命に台詞や演技を覚えたり道具や衣装をそろえたりと頑張ってきました。

そして、いよいよ本番。いつもは体育の学習や集会で利用している体育館が、この日は劇場に変身しました。

### 【 1年生 : しんせつせんたい1ネンジャー 】



大きな声で9人全員の声がよく聞こえました。台詞の順番や振り付けもよく覚えていました。「親切とは、本当に困っている人に、そっと手を差しのべること」という学びも含まれていました。

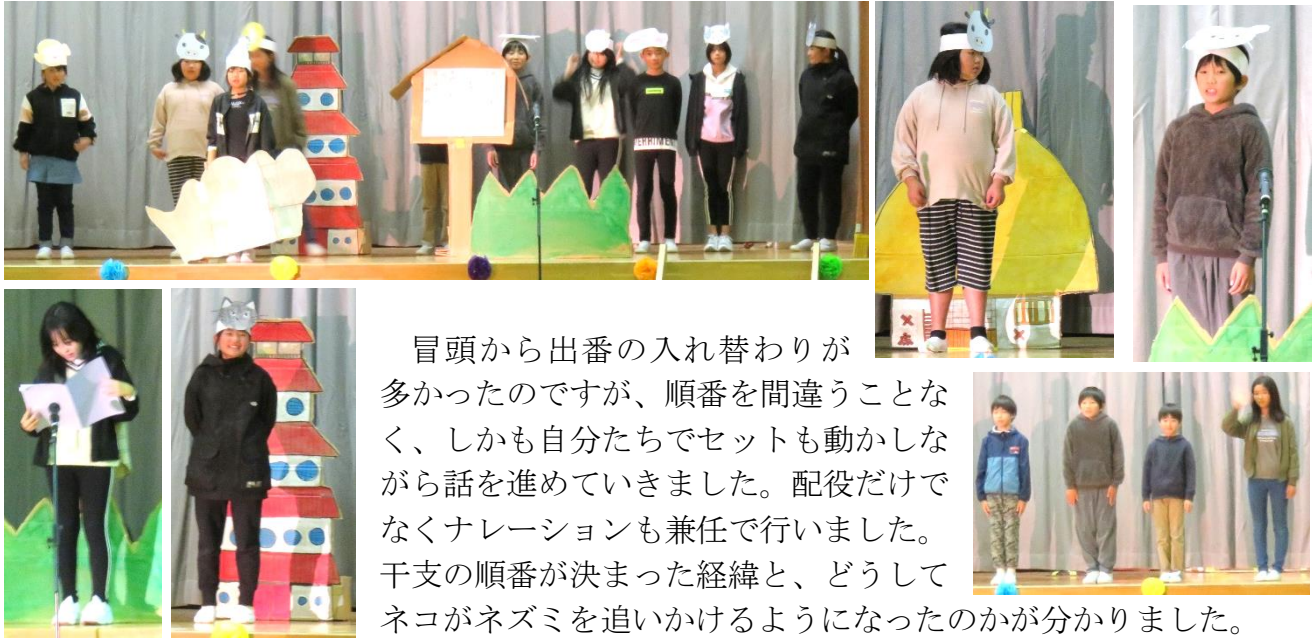


### 【 2年生 : 群読&「お手紙」 】

子どもたちの発する言葉のひとつひとつがしっかりと後ろまで聞こえました。長い詩でしたが最後まで言い切ることができました。「がま君」の話では、2部合唱まで披露してくれ、「ともだち」について学ぶことができました。



【 4・5年生 中国民話劇「ね、うし、とら・・・十二支の話」 】



冒頭から出番の入れ替わりが多かったのですが、順番を間違えることなく、しかも自分たちでセットも動かしながら話を進めていきました。配役だけでなくナレーションも兼任で行いました。干支の順番が決まった経緯と、どうしてネコがネズミを追いかけるようになったのかが分かりました。

【 6年生 方言劇「三びきんこぶた」 】

1つの台詞に2つも3つも手足の動きがあり、間の取り方や言い出すタイミングも絶妙で、見る人たちを意識した出し物ができるのは、さすが6年生。この方言は何かなという時も演技で話の内容が伝わってきました。沢山の練習に支えられた自信が溢れ出ている堂々とした演技でした。



今回、児童がステージで一生懸命演技をしている時に、フロアで見ている人たちが真剣に台詞を聞いたり、面白いところで笑ったり、終わりに沢山の拍手をしてくれたり・・・この日は演技をしたり係の仕事をしたりしている人たちの頑張りに加え、見ている人も一緒に舞台を作り上げることができたと思います。そして1人1人が主役の城井っ子集会を楽しむことができました。

